

で履草 さんぽ

歴史を感じる神田明神で 初夏の風薫るゆかたさんぽ

東京都千代田区に鎮座する神田明神(神田神社)は、1300年近くの歴史を持ち、都内108の町を見守る総氏神。時折吹く涼しい風を感じながら、「仲人マダム」丸山和子さんと歩きます。



神田明神の随神門で待ち合わせ。爽やかなゆかたが日本の夏を感じさせてくれます。

今月のさんぽ友だち

丸山和子さん

出身地 埼玉県

血液型 AB型

趣味 仲人の仕事、きもの、卓球、書道

きもの歴 30年

今月のさんぽコース

神田明神

天平二年に創建され、江戸の時代から江戸総鎮守として東京を見守り続けている神田明神。人々の信仰は2016年のいまも失せることなく、たくさんの方々も参拝しています。そんな神聖な神社と一緒に歩いたのは縁結びの達人で「仲人マダム」と名高い丸山和子さん。縁結びのご利益もある神田明神と大変ご縁があるそう、神社のさまざまな場所を案内してくれました。

涼やかな有松絞りのゆかたと麻の半幅帯にぶどう蔓のバッグのコーデイネイト。ポイントのはつまみ細工のひまわりの帯留。可愛さを残しつつ、大人っぽさも兼ね備えていてチャームングです。

本来はシンプルな白山紬や大島紬が好きたという和子さんですが、似合うと言われるのは明るめな小紋や格のある訪問着などだそう。「仲人マダム」としてメディア出演も多いため、普段から明るめなものを選ぶようにしているそうです。お召しになっている絞りのゆかたも、和



縁結びの神様、大黒様(大己貴命<おこなむちのみこと>)とバシヤリ。良縁パワーがあふれています。



アニメでも有名な神田明神。たくさんの絵馬は少し幻想的な雰囲気演出します。



神田神社 清水権宮司さんと。穏やかで丁寧な腰に神社の品位が感じられます。



今にも動き出しそうな美しい桃太郎の人形と。まじまじと見つめる和子さん。



夏は紫外線対策の日傘も忘れずに！ 髪飾りと指輪も緑色で合わせて。さりげないお洒落も忘れない和子さん。

「慣れているので肩が凝ってしまいましたが、モデル気分を味わわせていただいとても楽しかったです」
忙しい日々につかの間の神社さんぽ。夏のみまわりにも負けない、華やかな笑顔が印象深い和子さんでした。

子さんの明るく快活な雰囲気によく似合っていました。
「どうしても忙しいときは、丁寧なきものを選ばずに、手元にある数日前に着たものを着て行っちゃうんです」と話していらっしやいましたが、さすがのコーディネートセンスで着慣れているのがわかります。
毎年5月に神田明神で行われる「神田祭」は夏の始まりを告げる祭で、日本の三大祭の一つに数えられています。中でも約1000名からなる行列が鳳輦ほうれんとともに氏子うじこ108町会をまわる神幸祭。趣向を凝らした曳き物や仮装行列が賑やかに街を練り歩く附け祭も多く見物客で賑わいます。丸山さんも附け祭では「大江戸和髪隊」の一員として伝統的な日本髪を結って、行列に華やかさを添えています。神田明神が現在の地にご遷座して400年。それを記念して昨年、奉祝大祭が盛大に行われました。
暑くなってきたので、和さんは神社本堂の裏にある資料館へ。現在でも人気がある歌川国芳の浮世絵や、生き人形とも呼ばれた桃太郎の人形を眺めながらひと涼みです。和さんは、少女のように目をきらきらさせて観ていました。